

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和5年6月21日(水)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO9

校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

修学旅行での6年生 素晴らしい成長でした！



6月14日(水)15日(木)の二日間、6年生が長崎に修学旅行に行ってきました。私が天神山小に赴任した時、この子どもたちは4年生でした。5年生、6年生と学年が上がるにつれ成長してきているなどと思っていました。これまでの学習の成果が試される修学旅行。結団式や出発式から雰囲気の違いを感じていました。自分たちで話を聴く体制をつくるのがはやいな、と。

心構えができていたので、1日目の平和学習に取り組む姿勢も素晴らしかったです。原爆資料館見学は、事前学習が甘く、本人の課題意識が低いと、出口で、もう1回しっかり見学してきなさいと追い返す場合もありました。しかし、今年の6年生は、1つの1つの展示品や映像資料等をしっかりと見ていました。中には、「先生、心が痛い。」と呟いたり、笑いながら死ぬという言葉が発していた高校生を見て「いけない」「おかしい」と感じたりした子どもたちがありました。戦争のこわさ、平和の大切さに気づき、考え、そして行動する姿がありました。

またホテルでの入館式でも、150人の子どもたちが、自分たちでさっと話を聴く雰囲気を作り出したので、ホテルの方が「鳥肌が立ちました。」と心から驚いていました。その後も、食後のテーブルをきれいにふきあげたり、お風呂の棚を点検したり、ゴミを捨てる姿が見られました。特に感心したのは1組のある班が写真のように夕食後の後片付けを、ホテルの方が片付けやすいように整理しました。それを見た他の班は、良さに気づき、朝食の後片付けは、どの班も完璧でした。夕食から朝食という短い時間でも成長が見られました。「当たり前」ではなく、様々な人の思いに、気づき、考え、感謝の思いを表現した子どもたちでした。

二日目のハウステンボスは一転、異国文化の違いを感じながら、全力で楽しむ姿がありました。学ぶときは学び、楽しむときは楽しむ。メリハリの利いた大変良い修学旅行でした。

「仲間」とつくる素敵な修学旅行」～気づき・考え・行動する～を体現できた6年生でした！！